



学校だより

5月号
横浜市立桜台小学校
令和5年4月28日発行

教員の「養成」と「育成」

校長 小宮 健

木々の緑が映える爽やかな時季になりました。風が実に心地よく感じられます。

新年度が始まり、早一か月。子供たちは新しい担任や新しいクラスにも少しずつ慣れ、新たな交友関係を築きながら、随所に活発さが見られるようになってきました。先日は授業参観・懇談会への多数のご参加ありがとうございました。今年度はコロナ禍による制限も緩和されることで、お子様の活動をご覧いただける機会を多く設けていきたいと考えています。

さて、本校では重点的取組の一つとして、今年度も引き続き「**学びの充実に向けた教育機関との連携・将来を見据えた教員養成**」を推進していきます。

昨今、教員不足の深刻化が社会問題となっています。持続可能な学校教育活動や働き方改革を推進しつつ、教育に興味・関心のある人材が教職の魅力を感じて、未来の教育に寄与する教員の養成に結びつくような取組が求められています。

本校では、これまで活用してきたAT（アシスタント・ティーチャー）や指導ボランティア等と並行して、教員養成機関との連携をさらに深め、学校教育現場として教員養成に今まで以上に関わる次の具体的内容に取り組んでいきます。

- ① 昨年度に引き続き、10月に関東学院大学教育学部1年生24名が5日間の「初期教育実習（教育活動の視察、児童支援、授業準備や環境整備などの教職員の業務補助等）」を本校全クラスにて二期に分けて行います。
- ② 横浜国立大学教職大学院生（教員免許取得者）1名が教育実践者として「学校実習」を週1日通年で行います。自らの教育実践力を身に付けるとともに学校運営の実際に触れ、学校づくりに積極的に参画できる機会を設けます。
- ③ 6月に横浜国立大学教育学部3年生1名が4週間、通常の「教育実習」を行います。また、2年生1名が前期10回程度の「スクールデー実践」と称したインターンシップで、学校ボランティアと同様の学習支援に取り組めます。
- ④ 横浜市の教育施策の一環として横浜市立桜丘高等学校に開設された「教員養成講座」において、今年度は高校1年生約30名が「職場体験（授業見学、行事の手伝い、キッズクラブでの学習支援）」を行います。
（記者発表 [令和5年4月 横浜市立桜丘高等学校に「教員養成講座」を開設します！ 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kyoiku/2021/0222sakura.html)
URL : <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kyoiku/2021/0222sakura.html>)

次に示すのは、昨年度の「取組①」終了後に本校教諭が残した感想の一部です。

- ・ 参加した実習生の記録を読み、自分のクラスで5日間を過ごし、『絶対に先生になると決意した』という言葉があり、とても嬉しくなったとともに、自分自身の気も引き締まるような感じになりました。記録を読んで、実習生の立場から自分はどのように見られていたのか客観的に知ることができ、もっと自分自身の力を高めていかなければならないと考えさせられました。
- ・ 未来の教員養成につながる活動、今後もぜひ協力していきたいです。また、学生の頃教員を目指していた時の気持ちも思い出すことができました。初心に戻って自分を振り返るよい機会になりました。

教員の「養成」に現職教員が関わることは、その教員自身や教職員組織の「育成」につながり、教育現場への相乗効果を生む——ひいては「すべては子供たちの将来に還元されていく」と期待しています。